

授業科目名： 現代経済学の理論と方法		担当教員名： 藤井誠二・李佳	
選択/必修： 選択	単位数： 2	セメスター： 1 前	開講言語： 日本語
ディプロマポリシーとの関連			
国際社会の知識	政策分析能力	英語コミュニケーション能力	
	●		
○授業の到達目標及びテーマ			
<p>本授業科目では、経済学の基本的な分析道具を身に着け、現実の経済問題を解析・理解できるようになることを目標とする。前半はミクロ経済学、後半はマクロ経済学に焦点をあてる。</p>			
○授業の概要			
<p>本授業科目では、経済学の理論的フレームワークを学習することを目標とする。前半はミクロ経済学、後半はマクロ経済学に焦点をあてる。前半のミクロ経済学では、需要と供給、価格弾力性、消費者行動、生産者行動、市場の効率性、ゲーム理論などを学習する。後半のマクロ経済学では、IS-LM モデルに代表される短期モデル、ソロー・モデルや AK モデルに代表される長期モデルを中心に学習する。授業の進行状況により内容を調整する場合がある。</p>			
○授業の方法			
<p>1) 日本語で行われる。 2) 受講生は、テキストを読み、また授業での質疑応答に積極的に参加することを求められる。 3) 授業は、毎回、簡単なレジュメ・パワーポイント等の資料が示され、それに基づいて、当日のテーマについての講義が行われる。それと共に、授業の進行状況に応じて随時、質疑応答やディスカッションを実施する。</p>			
○授業計画（予定）			
第 1 回 イン트로ダクション、需要と供給、見えざる手、価格弾力性			
第 2 回 消費者行動の理論：無差別曲線、効用最大化問題、所得効果、代替効果			
第 3 回 消費者行動の理論：通常的需求曲線、補償需要曲線、シェパードの補題、ロワの恒等式			
第 4 回 生産者行動の理論：生産関数、費用関数、利潤最大化問題、費用最小化問題			
第 5 回 生産者行動の理論：要素需要関数、供給関数、利潤関数、ホテリングの補題			
第 6 回 市場均衡の効率性、市場の失敗			
第 7 回 ゲーム理論			
第 8 回 マクロ経済学のための基礎知識			
第 9 回 IS 曲線（財市場の均衡）			
第 10 回 LM 曲線（貨幣市場の均衡）			
第 11 回 IS-LM モデル（財市場と貨幣市場の同時均衡、財政金融政策の分析）			
第 12 回 開放経済（マンデル＝フレミングモデル）			
第 13 回 経済成長の概観とソロー・モデル			
第 14 回 内生的成長モデル			

第 15 回 まとめ

第 16 回 期末試験

○テキスト（予定）

神取道宏（2014）『ミクロ経済学の力』 日本評論社

齊藤誠・岩本康志・太田聡一・柴田章久（2016）『マクロ経済学 新版』 有斐閣

○参考書・参考資料等

随時紹介する。

○学生に対する評価

1) クラス討論への貢献：10%

2) 期末試験（期末試験（持込不可））：90%（ミクロ経済学 45%、マクロ経済学 45%）

○オンライン授業に切り替えた場合の授業形態

授業形態：オンライン授業（リアルタイム配信）

資料・連絡事項掲載場所：担当教員に確認